

平成25年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	河川維持事業			
予算科目	8 款 3 項 2 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 消防・防災・安全の確保			
所管課情報	担当課:	道路河川課	電話番号(内線):	593
記入者情報	所属長:	上坂 博一	担当責任者:	鍋田 豊樹
実施期間	【開始年度】 平成 19 年度 【開始年度】 設定なし			
事業の対象	市が管理する河川沿線の住民			
事業の必要性	護岸の維持補修、狭隘河川の改修、河川堆積物の撤去等を行い、沿線住民が安心、安全、快適な生活ができるよう河川機能を健全に保つ。			
施工方法、場所	【施工方法】	請負	【施工場所】	市内一円
運営方法	【運営方法】			【運営費(予定)】
事業の目的	沿線住民が安心、安全、快適な環境を維持できるように、自然を生きつつ且つ防災機能も備えた河川として、その機能を健全に保つ。			
事業の内容	護岸の維持補修、狭隘河川の改修、河川堆積物の撤去等			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	現地調査を行い、危険性・緊急性の高い箇所から事業を実施する。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項目	24年度決算	25年度予算	9月末の執行状況	25年度決算	
事業費	直接事業費	1,355	9,800	358	9,139
	人件費	799	813	81	813
	合計	0	10,613	439	9,952
人件費 内訳	人工数	0.10	0.10	0.01	0.10
	人件費単価	7,999	8,135	8,135	8,135
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	799	813	81	813
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	2,154	10,613	439	9,952

実施スケジュール								
項目	24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降	
作業員賃金		510	900	900	900	900		
委託費		191	200	200	200	200		
賃借料		60	200	200	200	200		
工事請負費	1,355	8,378	4,400	5,000	5,000	5,000		
年度別事業費	1,355	9,139	5,700	6,300	6,300	6,300		
財源	国・県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	1,355	9,139	5,700	6,300	6,300	6,300	
国・県支出金等名称								0

成果指標				
成果指標	修繕箇所÷要望箇所＝実施率			
指標設定の考え方	要望箇所に対する改修の割合を上げることにより、沿線住民が安全且つ快適な生活を送ることができる。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目標	0	-	-	0
実績	-	-	-	-

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	災害等を未然に防ぐため、現地調査等により施工の必要性を検証し実施する。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	地域住民団体が構成されている愛りパー制度の活用による河川の維持管理を行うことが重要と思われる。土羽法面の草刈り、堆積土砂撤去工事、護岸維持工事など様々な要望には、緊急度から優先順位を付けて対応をする必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題